

# 心のバリアフリー教育の推進

< 今年度の取組等紹介 Vol.3 >

## 東京2020大会からの1年です。振り返ってみましょう！

大会から1年経ちますが、多様性や障害への理解を深めていこうとする機運は全国的にも高まっています。東京2020パラリンピック競技大会の閉会式では、県内の2校が表彰されましたが、両校とも、インクルーシブな世界の実現に向け、『I'mPOSSIBLE』日本版教材を活用して子供たちに共生社会への気づきを促し、家庭や地域にその取り組みを広げていきました。



記念のシルバープレートと大会マスコットのぬいぐるみ

### I'mPOSSIBLE アワード

日本パラリンピック委員会のWebでも両校の様子が動画で紹介されています。

#### 開催国最優秀賞

木更津市立清見台小学校

(<https://youtu.be/pSxjyrWws4w>)



児童が国内のバリアフリーについて考え、さらに、自分の地域に目を向け、誰もが暮らしやすい社会にするためにはどのようにすればよいかを考えました。

#### 開催国特別賞

県立東金特別支援学校

(<https://youtu.be/nKU897p8E5c>)



子供たちが地域の学校などに出向き、パラスポーツのルールや楽しさを工夫しながら伝え、周りの人々の障害に対する意識を変えていきました。

### 豆知識

## 8月24日は【ジャパンパラリンピックデー】

パラリンピックが東京で開催されることを国民の心に深く留めてもらい、パラスポーツ、パラアスリートへの関心を高めて、パラリンピック・ムーブメントをレガシーとして発展させることが目的で、東京2020パラリンピック競技大会の開幕日である「8月24日」（毎年8月24日と制定）を、ジャパンパラリンピックデーとして、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会日本パラリンピック委員会が制定しました。

お問い合わせ先 企画管理部教育政策課 電話043-223-4177